



1907年製 フォード モデル R ラナバウト



製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	?
総生産量	14,887 (完成車)
馬力	15
重量	1,050ポンド/ 480キログラム
当時売価	\$750 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

モデルRは、モデルNの「豪華版」とも呼ばれた乗降用のステップに代わり、踏み板を使用エンジンにもいくつかの改良を加えた

モデルNを洗練したバージョン

フォードの新しい宣伝スローガン「ウォッチ・ザ・フォード・ゴー・バイ(道行くフォードを見よ)」に対する消費者の反応は良く、フォードのマーケットシェアは1907年に35%へ上昇した。モデルRは、モデルNを洗練したバージョンの車で、フルサイズのフロントフェンダーおよび乗降用の踏み板が取り付けられており、色はブリュスターグリーンとカーマインレッドの2種類があった。またその年、路上でタイヤ交換ができるよう、後部カバーの下に初めて「スペアタイヤ」を装備して特色を出した。モデルRの売上は予想を上回り、フォードに部品を供給するサプライヤーは、その生産要求に遅れないよう強いられた。サイドレバーは、2速の遊星式トランスミッションを操作するものである

ラリー・D・ポーター収蔵品

この車は、ラリー・D・ポーター収蔵品からフォード・ピケット・アベニュー工場に貸し出された数多くの「アルファベット名の車」のうちの一台中の一台である。そのコレクションは、フォード・モーター・カンパニーが1903年にマック・アベニューで製造した車、そして1904年から1910年にかけてフォード・ピケット・アベニューの組み立て工場で製造した車をすべて揃えている。ピケット工場は、この収蔵車の展示を可能にしてくれたラリー・D・ポーター収蔵に対し、非常に感謝している。